

試合番号 : 383	試合会場 : NEC玉川アリーナ	観客数 : 198		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:59	試合時間 : 01:59		
主審 : 渡部 菜保子	副審 : 養庭 和恵			
NECレッドロケッツ	通算 23勝 10敗 ポイント : 70	24 第1セット 26 20 第2セット 25 25 第3セット 17 21 第4セット 25 第5セット	久光スプリングス	通算 23勝 10敗 ポイント : 72
監督コメント	1	3	監督コメント	まずはこの大会を開催できたこと、関係されるすべての皆様にご挨拶申し上げます。そして、対戦相手のNECに大きな敬意を表したい。このプレッシャーのかかる一戦、相手のサーブに苦しめられたが、我慢し、それぞれの選手がカバーし合い、乗り越えてくれた。来週に向けて変わらず良い準備をしていきたい。本日もたくさんのご声援ありがとうございました。
要約レポート	NECレッドロケッツと久光スプリングスの最終戦はファイナル3をかけた大一番となった。第1セット序盤、NECはサーブプレッシャーからの組み立てが良く、リードを奪った。中盤は久光が逆に流れを掴み、完全に形勢を逆転し突き放した。NECも立て直し、最後は一進一退の展開となったが、最後は久光が振り切り、セットを奪った。お互いに落とすまいと第2セット、NECはウィルハイトや古賀が決定力を発揮し、一旦はリードを奪った。しかしながら、久光はアキンラデウォが次々とスパイクを決め、石井も良いところでサービスエースを決め、徐々にNECを突き放し、セットを奪取した。後がなくなったNECは、第3セットになると島村や山田のスパイクが決まるようになり流れが一変。久光も押し返そうとするが、このセットはNECが流れを掴み取り、セットを奪取した。セットを取った方がファイナル3進出となる第4セットは、互いの意地と意地がぶつかり合う大熱戦となる。終盤までもつれたが、最後は久光の井上(愛)、石井が決めてセットを取り、ファイナル3進出を決めた。			

試合番号 : 406	試合会場 : 入善町総合体育館	観客数 : 370		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:49	試合時間 : 01:49		
主審 : 吉岡 奈々	副審 : 沢田 元			
東レアローズ	通算 26勝 7敗 ポイント : 79	25 第1セット 15 25 第2セット 18 25 第3セット 20 第4セット 第5セット	KUROBEアクアフェアリーズ	通算 3勝 30敗 ポイント : 8
監督コメント	3	0	監督コメント	V・レギュララウンド最終戦を良い形で終え、来週のV・チャレンジマッチにつなげたい大切なゲームでした。0-3の完敗となりましたが、ラッツ選手やコクラム選手にうまくつなぎ、得点するケースが増えてきました。来週の試合に向けて、さらに確実に得点できるように準備をしたいと思っております。今後ともご声援よろしくお願い致します。
要約レポート	2位以上が確定しているが優勝のためには負けられない東レアローズと、ホームで地元ファンに熱い戦いを見せるべく燃えているKUROBEアクアフェアリーズのV・レギュララウンド最終戦。第1セット、東レが序盤から猛攻を仕掛ける。クランの連続スパイク、西川の連続ノッチエース、石川の連続ブロックなどで9-2とリードし、主導権を握る。その後もKUROBEの連続得点を2度に抑え、攻撃の手を緩めず得点を重ね、東レが大差でセットを先取した。第2セット序盤、KUROBEはコクラムのスパイク、戸部のブロックなどで得点を重ねて先行し、東レが追いつける展開となる。しかし、地力に勝る東レは9-12から井上のスパイク、関の2本のサービスエースなどで7連続得点し逆転する。その後も連続得点を重ね、セットを連取した。第3セット、東レは小川や石川が、KUROBEはラッツやコクラムが得点を重ね、中盤まで一進一退の展開となる。16-16から東レが井上やクランのスパイクなどで5連続得点しKUROBEを突き放す。KUROBEはラッツがブロックやスパイクなどで3連続得点し追いつくも届かず、東レが勝利した。			

試合番号 : 408	試合会場 : ヴィクトリーナ・ウイंक体育館 (姫路市立中央体育館)	観客数 : 762		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:31	試合時間 : 01:31		
主審 : 佐々木 伸子	副審 : 本間 明			
ヴィクトリーナ姫路	通算 8勝 25敗 ポイント : 25	17 第1セット 25 20 第2セット 25 12 第3セット 25 第4セット 第5セット	埼玉上尾メディックス	通算 20勝 13敗 ポイント : 60
監督コメント	0	3	監督コメント	シーズンを通して多くの苦境を乗り越えてきました。その度に選手一人一人が考え、成長できたと思います。最後の試合ではスタメンだけでなく、代わって入った選手も活躍しました。納得のいく順位では決まてありませんでしたが、全員が悔しさを次に繋げられるよう取り組んでいきます。応援してくださいました皆様へ感謝の気持ちでいっぱいです。引き続きメディックスの応援よろしくお願い致します。
要約レポート	ヴィクトリーナ姫路が埼玉上尾メディックスを迎えるホーム最終戦。第1セット、埼玉上尾は佐藤の連続得点を皮切りに山崎のトスワークが牙を利かす。姫路は佐々木のアタックやブロックで連続得点し追いつけるが、埼玉上尾は内瀬戸のアタックで得点を重ね、セットを先取した。第2セット、埼玉上尾はロレンネのアタックでリードを広げる。姫路はブラク、途中出場が入った渡邊や古市のアタックで反撃するも、最後は埼玉上尾の青柳がアタックを決め、セットを連取した。第3セット、埼玉上尾は序盤からレベロ山岸を中心に安定したレシーブから得点を重ねリードを広げる。姫路は孫田や貞包のアタックで対抗するが、埼玉上尾は選手交代が入った山口がアタックで得点し、ストレートで勝利を収めた。			

試合番号 : 409	試合会場 : 山陽ふれあい公園総合体育館	観客数 : 500		
開始時間 : 13:30	終了時間 : 15:40	試合時間 : 02:10		
主審 : 北村 友香	副審 : 江口 祐一郎			
岡山シーガルズ	通算 12勝 21敗 ポイント : 36	23 第1セット 25 29 第2セット 27 21 第3セット 25 22 第4セット 25 第5セット	デンソーエアリービーズ	通算 20勝 13敗 ポイント : 56
監督コメント	1	3	監督コメント	今シーズン最終戦を全員が笑顔で締めくくることができました。シーズンを通して、色んな時期を経ての最終戦でしたが、"エアリービーズ"をコートの中の選手、コート外の選手、スタッフが体現することができたと思います。毎週厳しい状況の中でも大会開催にご尽力いただいた方々に深く感謝いたします。また、Vリーグと一緒に盛り上げてくださったファンの方々に感謝しております。私たちが支えてくださる方々のためにもより一層レベルアップをし、さらに盛り上がる、応援してもらえりるリーグを目指して精進していきます。今日まで応援してくださり、ありがとうございました。
要約レポート	共にV・レギュララウンド最終戦を勝利で飾りたい岡山シーガルズとデンソーエアリービーズの一戦。第1セット序盤、岡山は金田、高柳(有)、デンソーは中元、兵頭、東谷を中心に得点を重ね互角の展開となる。中盤、お互い粘り強いレシーブから好ラリーが続く中、デンソーが中元の連続サービスエースからリードを広げる。岡山も佐伯や佐藤が得点し粘りを見せるが、デンソーが逃げ切りセットを先取した。第2セット、岡山が佐伯、佐藤、及川の得点などで序盤からリードを奪う。デンソーも中元やフダサックのアタックなどで反撃するが、岡山はセッター小野寺からの多彩の攻撃で得点を重ねる。デンソーも兵頭や横田(真)の得点などで反撃。最終まで接戦が続くデンソーとなるが、岡山が地元の大応援を力に競り合いを制し、このセットを奪った。第3セット、立ち上がりから岡山が川島や佐伯のブロックなどでリードを奪うが、デンソーも粘り強いレシーブから徐々にリードを奪い、このセットも競り合いとなる。中盤以降お互いが持ち味を發揮し一進一退の展開が続くが、デンソーは横田(真)や工藤の得点などで抜け出し、このセットを奪った。第4セット、岡山は遠藤や佐伯、デンソーは工藤や中元の得点で序盤から接戦となるが、中盤、デンソーは兵頭や横田(真)のアタックやサーブなどで得点し徐々にリードを広げる。岡山も古川や佐伯のバブルな攻撃で反撃するが、デンソーは安定した守備からラリーを制し得点を重ねる。岡山も終盤に入り追いつけを図るが、デンソーが逃げ切り最終戦を勝利で飾った。			

試合番号 : 416		試合会場 : E・ブラザいしかわ				観客数 : 0				
開始時間 : 14:00		終了時間 : 15:26		試合時間 : 01:26		主審 : 高橋 宏明		副審 : 岡田 崇		
PFUブルーキャッツ		通算	12 勝	21 敗	20	第1セット	25	JTマーヴェラス		
			ポイント :	38	19	第2セット	25	通算	27 勝	
監督コメント	<p>今シーズンの集大成としてJTに挑んだが、残念ながらストレートでの敗戦となりました。しかし昨日よりも良い部分は出せたと思います。まだまだ力が及ばずぶべき点も多々あったと思うのでまた頑張っていきます。シーズンを通して沢山の応援をいただき本当に感謝しています。今シーズンは大きな波が繰り返されたシーズンでしたが、チームとして大きく成長できたと思います。これもチームに関わってくださった全ての皆様のおかげだと思います。本当にありがとうございました。</p>				0	18	第3セット	25	3	<p>V・レギュラーラウンド最後の試合となり、勝利したい一戦でした。前半はPFUのサーブで攻められ苦しい展開となりましたが、試合の中でしっかりと自分達で修正して、攻守にわたり安定したプレーができました。V・ファイナルステージに向けて心技体をしっかり準備していきます。2日間ありがとうございました。</p>
							第4セット			
							第5セット			
要約レポート	<p>V・レギュラーラウンドで1ポイントでも多く獲得したいPFUブルーキャッツは、勝てばV・レギュラーラウンドの優勝が決まるJTマーヴェラスを迎えての最終戦。第1セット、PFUは志摩のサービスエースから相手のミスを読み、5-2とリードする。JTはドルーズのサーブが効果的に決まり、連続して得点を重ね、粘るPFUを寄せつけず、セットを先取る。第2セット、序盤から両チーム一歩も譲らず得点を重ねるが、PFUはJTドルーズのサーブで乱され、JTがリードする。何とか追いつきたいPFUはバルデスにボールを集める。JTは田中、ドルーズの攻撃で突き離し、最後はチャレンジが連続して成功し、このセットも奪う。第3セット、後が無くなったPFUは、志摩とジャンの攻撃でリードする。中盤、JTは小幡の堅い守りからの絞らせない攻撃で逆転に成功し、最後までドルーズのサーブでPFUを乱したまま逃げ切る。この勝利でJTはV・レギュラーラウンドの優勝を手にした。</p>									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :				
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :		
		通算	- 勝	- 敗	第1セット			通算	- 勝	- 敗
			ポイント :	-	第2セット				ポイント :	-
監督コメント					第3セット			監督コメント		
					第4セット					
					第5セット					
要約レポート										

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :				
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :		
		通算	- 勝	- 敗	第1セット			通算	- 勝	- 敗
			ポイント :	-	第2セット				ポイント :	-
監督コメント					第3セット			監督コメント		
					第4セット					
					第5セット					
要約レポート										

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :				
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :		
		通算	- 勝	- 敗	第1セット			通算	- 勝	- 敗
			ポイント :	-	第2セット				ポイント :	-
監督コメント					第3セット			監督コメント		
					第4セット					
					第5セット					
要約レポート										